日本共産党 2022年11月 NO1077
小島和男区政ニュース

11月25日(金)の本会議で小島和男が一般質問します

11月24日からの11月会議で、日本共産党は、相馬・小林・小島の各議員が本会議での質問を行います。小島和男は、25日（金）午前10時40分頃に4項目の一般質問を行います。

質問項目

（1）区立幼稚園4園と短中時間の汐入こども園廃止について

1、来年度、廃園対象の区立幼稚園に申し込んだ申込んだ世帯の実態把握を行うと同時に、来年度についてはすべての園で3歳児クラス編成を行うこと。

2、私立幼稚園の特別支援が必要な園児の受入体制や通園送迎手段など具体化が示されないままでの区立幼稚園廃止計画は進めないこと。

（2）日暮里地域の再開発と相次ぐ民間マンション建設などによる人口増予測と学校などのインフラ整備について明らかにすること。

（3）障害者対策について

1、障害者グループホームは民間任せにしないで区の責任で増設すること。

2，三障害一元化と言われ15年以上経過しながらいまだ支給されていない精神障害者福祉手当を区独自に支給すること。

3，精神障害者への相談は、SNSなどを活用した情報発信を強化すること。

（4）女性が起業しやすくなるような講演会の開催女性向けの情報発信など荒川区独自の女性起業家育成支援を行うこと。

小島和男の本会議質問をぜひ、傍聴して下さい。

全国で不登校・最多24万人 荒川の中学校で211人

文科省の小中学校の不登校調査では一昨年に比べ昨年は5万人増の24万人、高校生は6万人です。

荒川区でも中学生の不登校は211人と過去10年で最高（下の表）です。

不登校対策として、教員を増やし少人数学級を推進すること。また不登校の当事者を孤立させないためにフリースクールなどの支援、学校のスクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの常勤化などが必要です。

安心して学べる教育環境の充実が求められています。

不登校者数(中学生)に係る過去10年間の推移(荒川区)

	全校生徒数	不登校者数（中1～3）	割　合	不登校者数（中3のみ）
2012年度	3110人	138人	4.40%	52人
2013年度	3152人	95人	3.00%	41人
2014年度	3254人	117人	3.60%	52人
2015年度	3265人	103人	3.20%	35人
2016年度	3262人	128人	3.90%	49人
2017年度	3252人	132人	4.10%	49人
2018年度	3166人	135人	4.30%	66人
2019年度	3138人	161人	5.10%	53人
2020年度	3191人	167人	5.20%	56人
2021年度	3311人	211人	6.40%	87人

国の介護保険制度改悪中止求め 区の介護保険料値上げ止めよ

再来年度の介護保険法改定に向け、利用料の２割・３割負担の対象拡大、要介護１・２の在宅サービスの保険給付外し、ケアプラン有料化など、介護関係者が「史上最悪」の悪案を国が検討しています。

日本共産党区議団は、国の介護保険法改悪に区として反対すること。

荒川区でも、再来年からの第９期高齢者プラン策定にあたって、紙おむつ支給・緊急通報システム・配食サービス等の福祉サービス拡充などの拡充を盛り込むこと。介護保険料の値上げは行わないことなど求めています。

発行：日本共産党荒川区議団　住所：荒川区荒川2－2－3　☎：3802-4627
Fax：3806-9642メール：arajcp@tcn-catv.ne.jp
＜小島和男事務所＞ 住所 荒川区東日暮里3-18－4　☎：3891- 8884
Fax：3891-8912　小島携帯電話：090-4361-9202　Twitter @kojima1028